

トップメッセージ(営業の概況)

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
当中間期は、一般消費動向など当社を取り巻く事業環境も概ね堅調で、各事業とも業績は順調に推移いたしました。

特に、航空関連事業では、中期経営計画において拡充ビジネスの一つと位置付ける航空機部品の保管・供給ビジネスで、国内重工業向けの取扱高を拡大し好調な実績をおさめました。また、顧客サービス事業では、空港店舗「BLUE SKY」などが好調に推移いたしました。

これらにより、当中間期の営業利益は、14億円となり、中間期としての最高益を3期連続で更新することができました。株主の皆様、関係先の皆様の、日頃のご支援の賜と深く感謝申し上げます。

なお、前中間期には、連結決算上の為替換算差額(営業外収益)などがありましたが、当中間期は特段の特殊要素がございませんでしたので、経常利益と純利益では前中間期を下回りました。一方で、期初に発表いたしました業績予想との比較におきましては、いずれも計画どおり順調に推移しており、

中期では増収増益を達成できるものと見込んでおります。

また、中期的には、「生活提案事業」を中心に事業の成長をはかり、「経常利益50億円」の目標達成へ向けて尽力し、適切な株主還元にも努めてまいり所存でございます。

引き続き、皆様からのご期待とご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



代表取締役社長
岡崎 俊城

Message from The President(Sales Outlook)

連結業績 (単位：百万円)	2006年9月 中間期	前期比 (%)	2007年 3月期予想	前期比 (%)
売上高	53,609	105	111,000	103
売上総利益	11,828	103	24,400	105
営業利益	1,400	110	3,100	127
経常利益	1,468	98	3,400	106
純利益	623	75	1,700	101

通期の業績の見通し(2007年3月期予想)

航空関連事業では、好調な航空機部品や、海外のエアライン向けの中古航空機販売などで、引き続き増益を見込み、基盤の拡充をすすめてまいります。

生活関連事業では、通信販売において新たなマーケティングシステムを導入し、サービスの向上や効率化の推進により、通期での増益をはかってまいります。

顧客サービス事業では、不動産関連で、サブリース物件のデベロップメントや、『JALパッケージズ』における物件のラインナップを充実、また、空港店舗「BLUE SKY」では、店舗数を拡大した新千歳空港や効率化をすすめる羽田空港を中心とする増益が見込まれます。

さらに、新規事業分野の1つである「厚生分野」では、東京・調布市の介護付有料老人ホームに続き、本年12月、品川区に『グッドタイムホーム・不動前』をオープンし事業を拡充いたします。

これらにより、計画の確実な達成による最高益の更新と、持続的な成長を目指してまいります。

セグメント別概況

Performance by Operating Segment

